

Ghost

in a dream.

1

新宿のアサシン × 藤丸立香

hologram
written by oyu

R-18



Ghost in a dream.

ATTENTION

自己解釈・ド捏造
二部カルデアでのお話です

それでおしまい
めでたしめでたし

俺は普通の
藤丸立香に戻つて

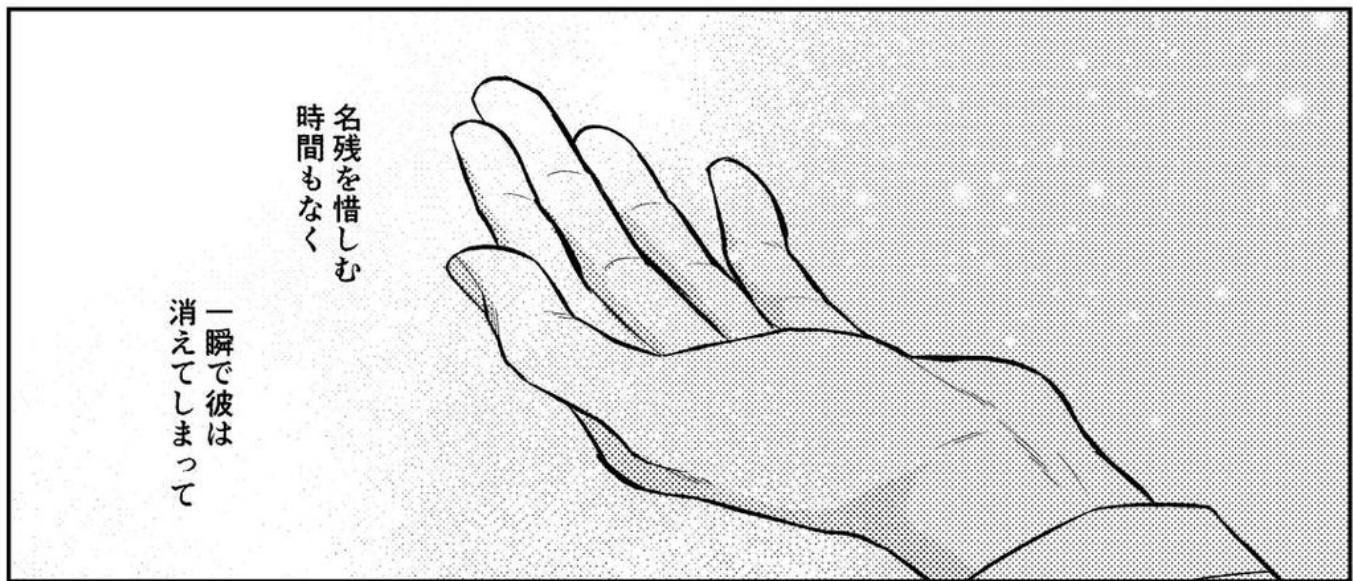
サーヴァントの
みんなは役目を
終えて

世界は救われて

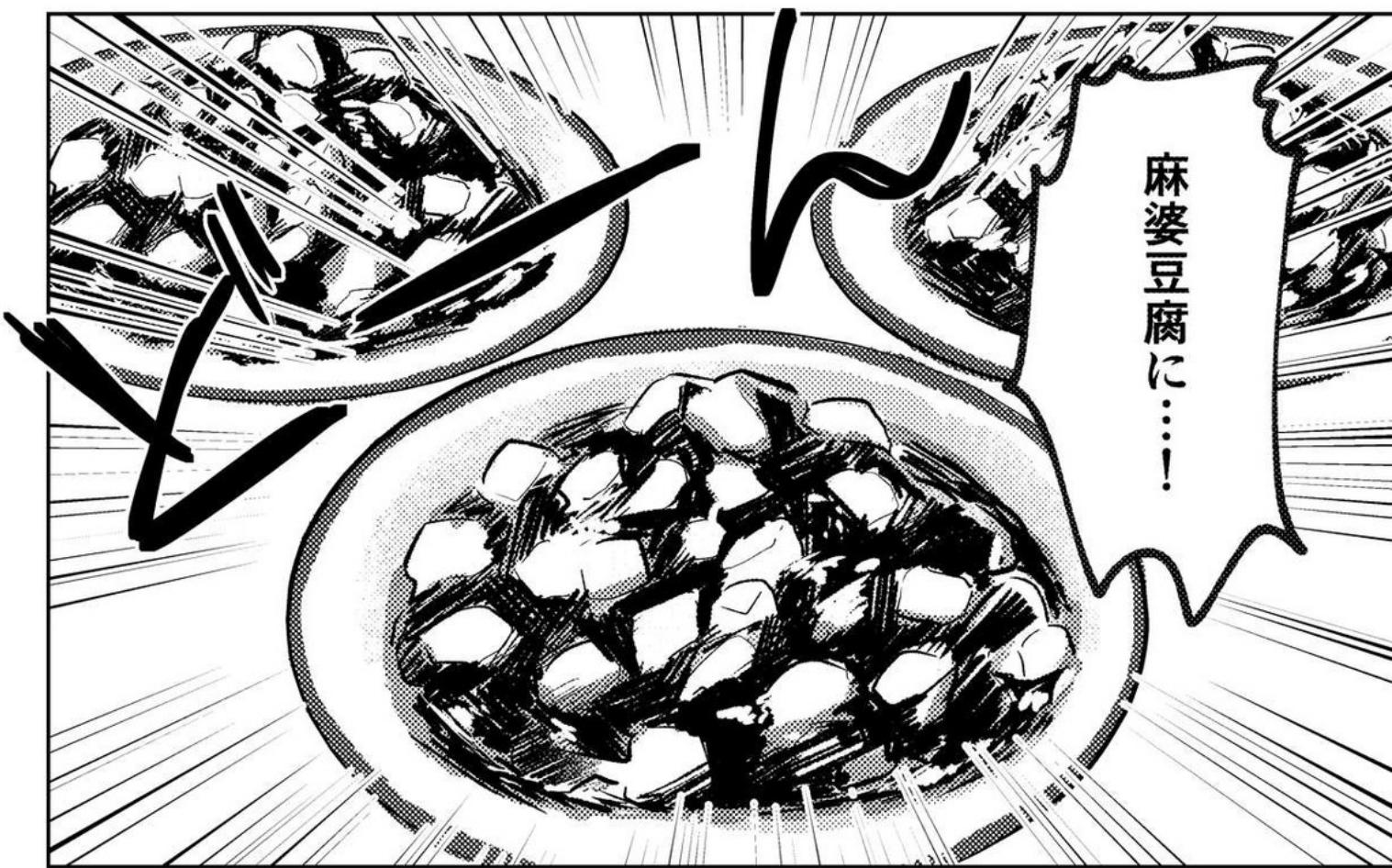
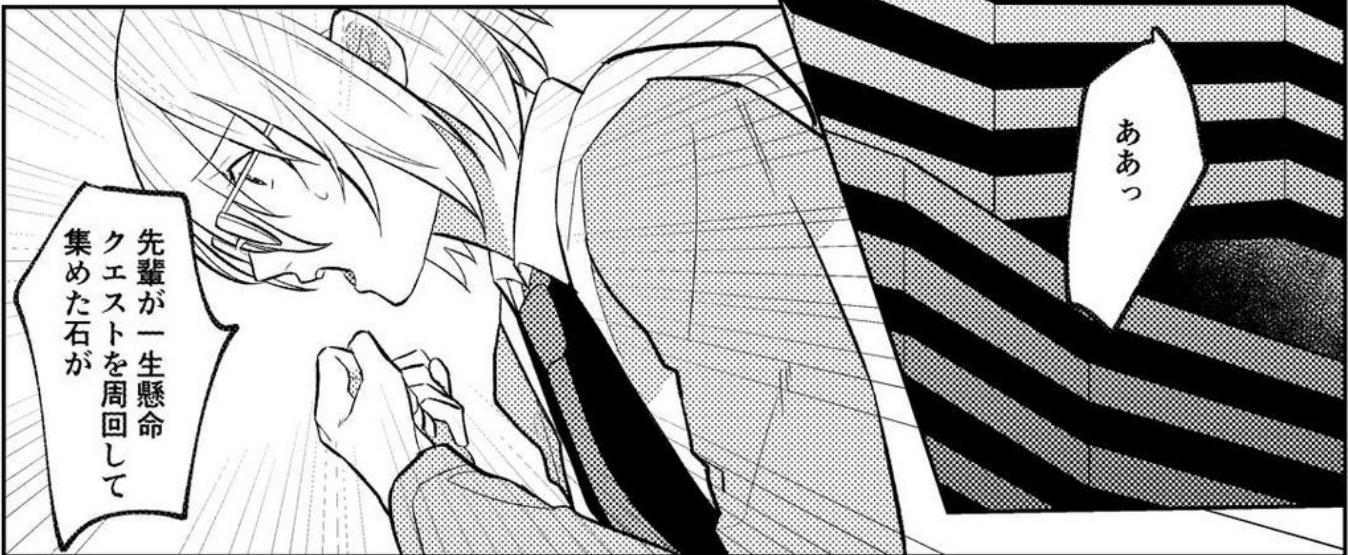
今までありがとう

これはきっと
ハッピーエンドだ



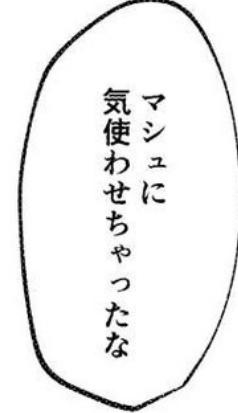


幸せな夢から
覚めてしまつた
ような心地だつた

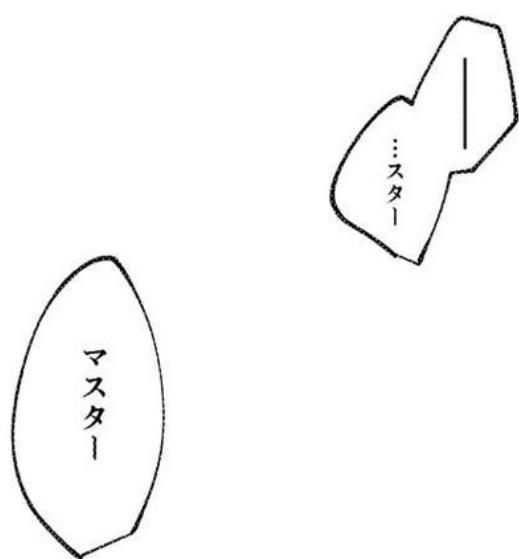
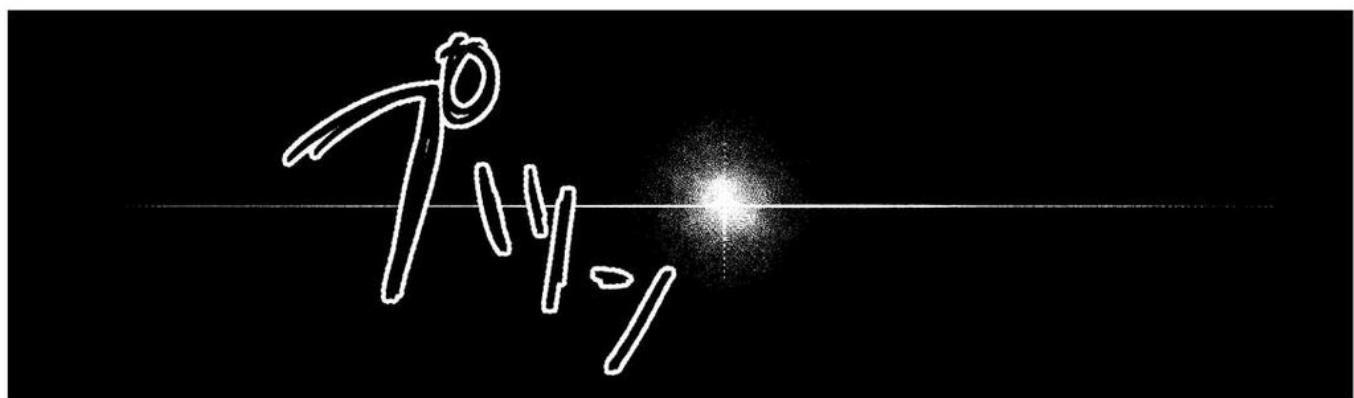


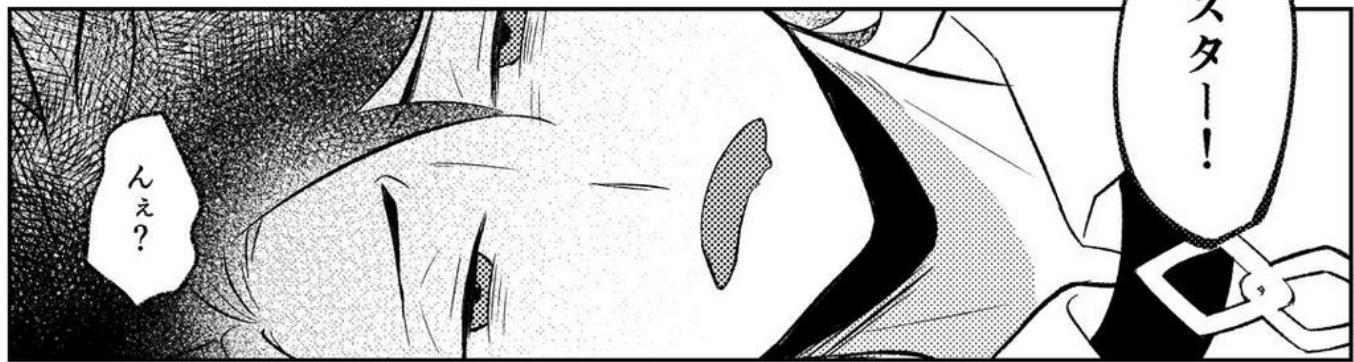












マスター!

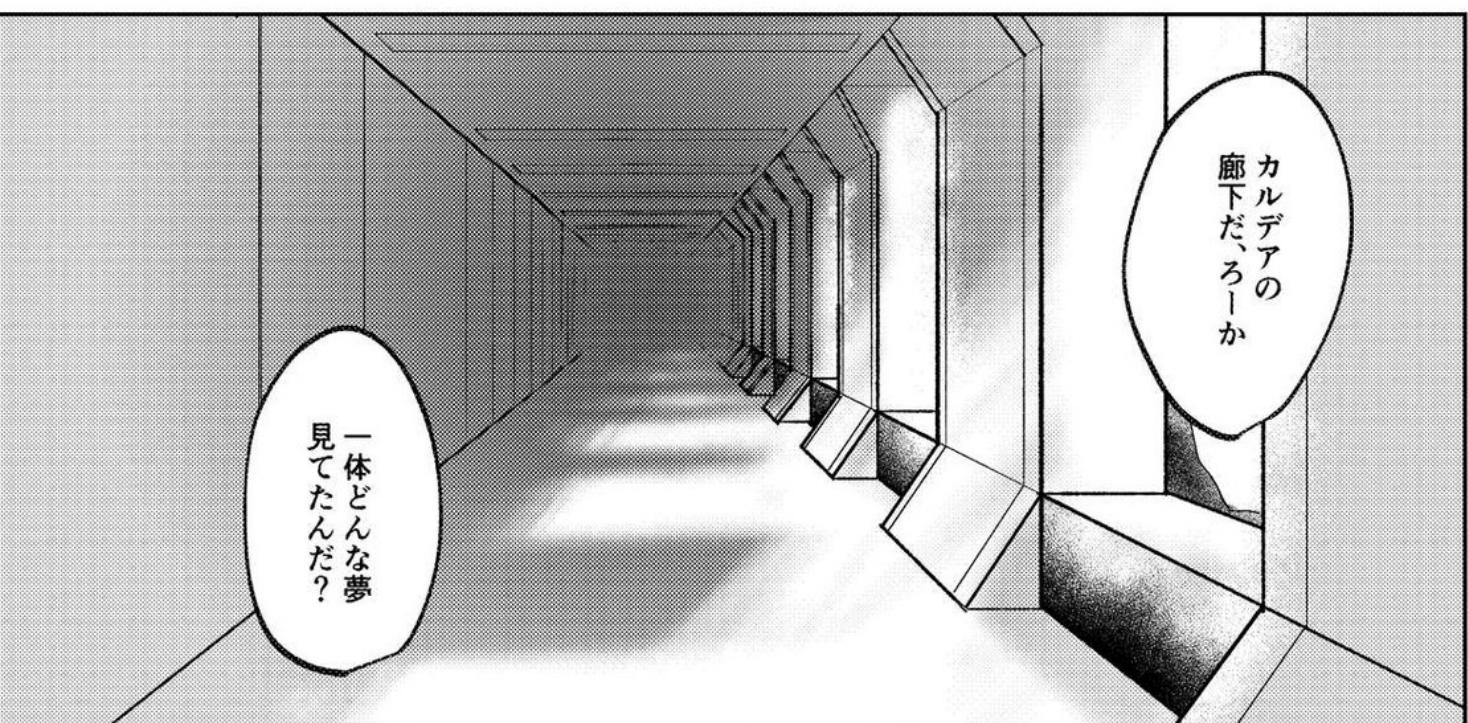


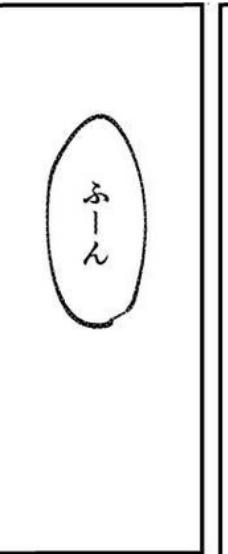
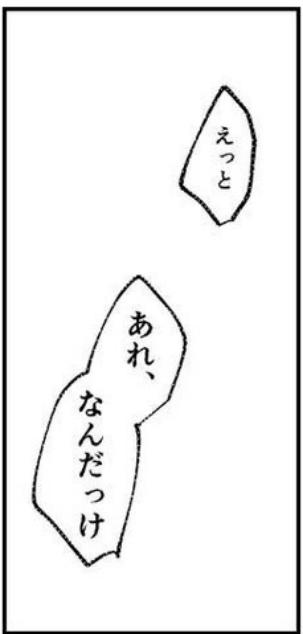
またこんなところで
寝落ちしてると
風邪引いちまうよお



燕青がなんでここに…!?

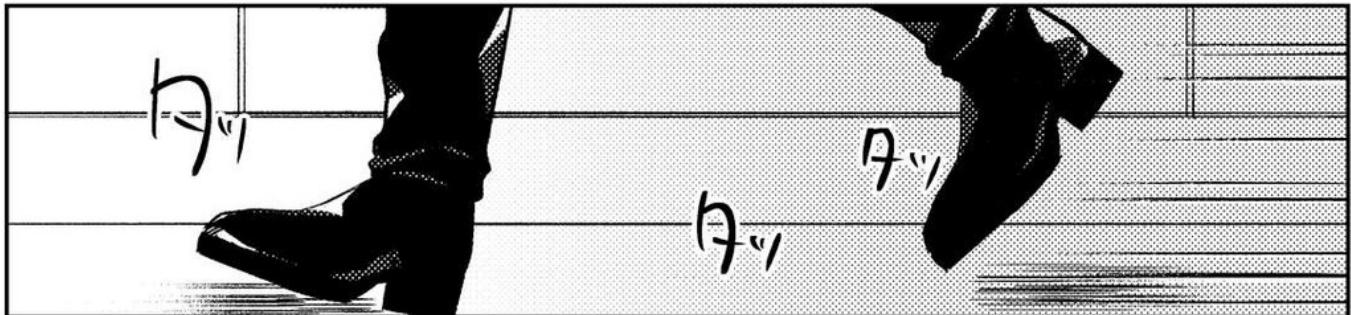








夜にまた
マイルームで!













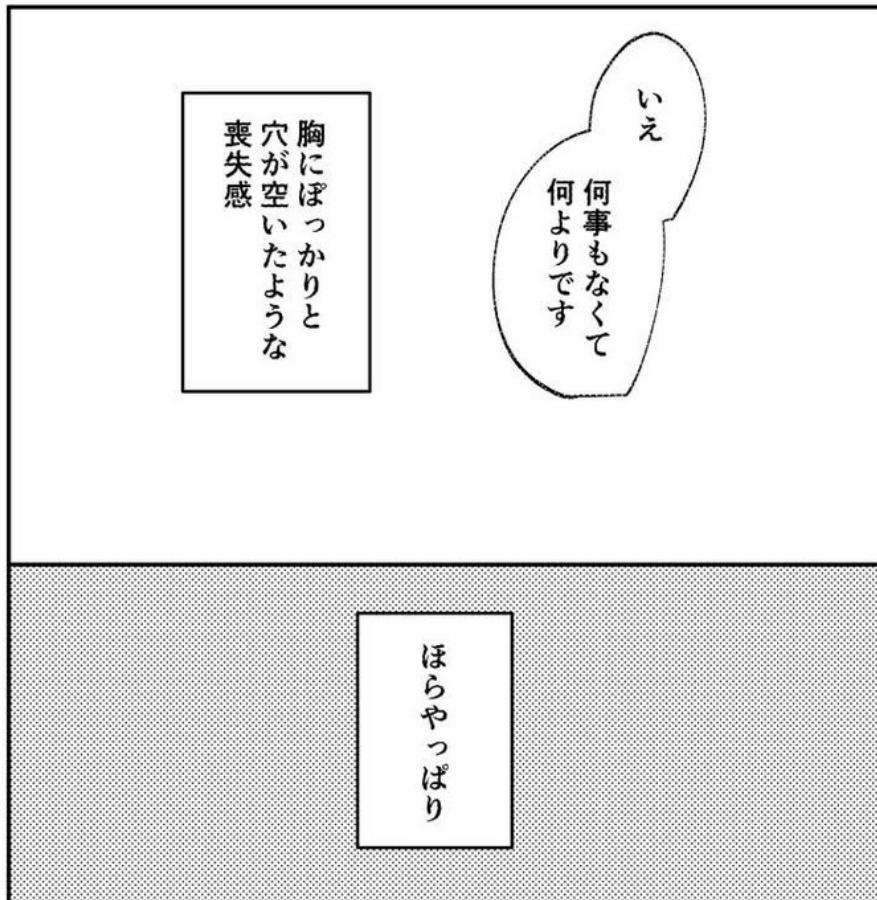
先輩！

一ぱい





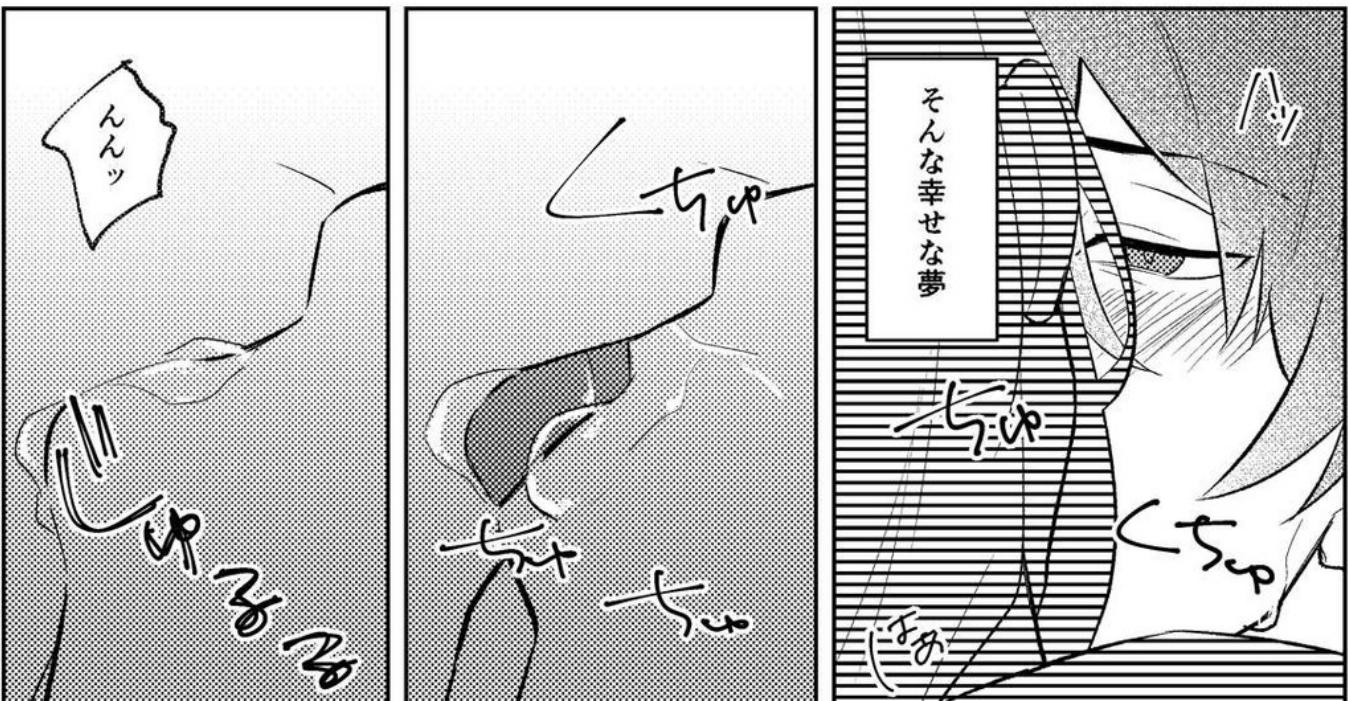
素材庫から戻つて
いらっしゃらないので
見に来たらここで
寝ていらしたんですよ



幸せな夢は
目覚めた後が怖いんだ



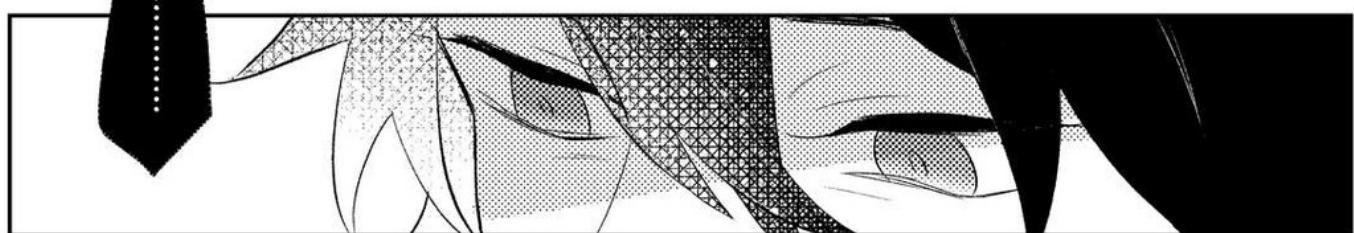
Ghost
in a dream.











そんなこと言つて
覺悟したつもりに
なつていただけ

いつか別れる時が
来るとしても
今一緒に居られれば

ずっと一緒にいれる
わけじやなくとも
構わない

もしさまた燕青に
会えたとして

俺は一体
どうするんだろう

ガニヤ

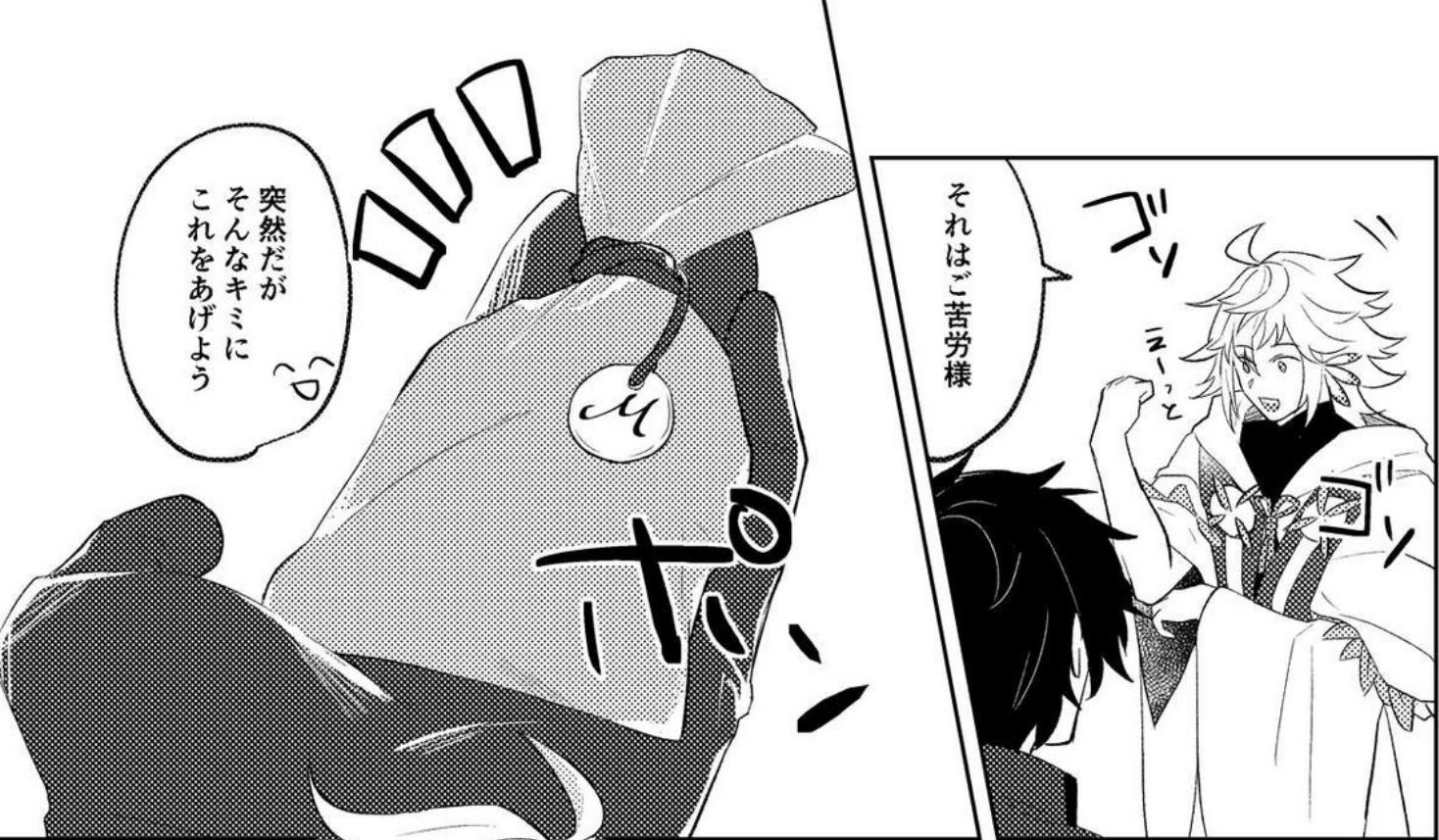
ハフ

カツ

ガリ

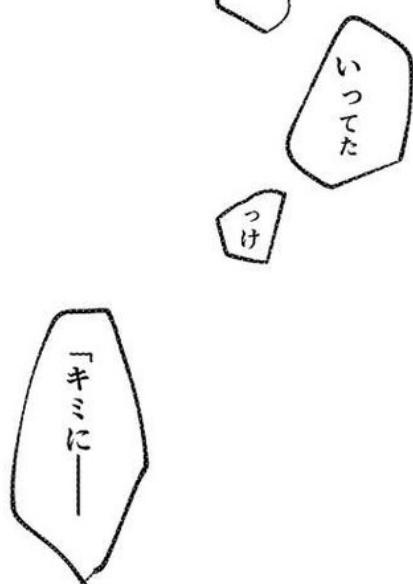
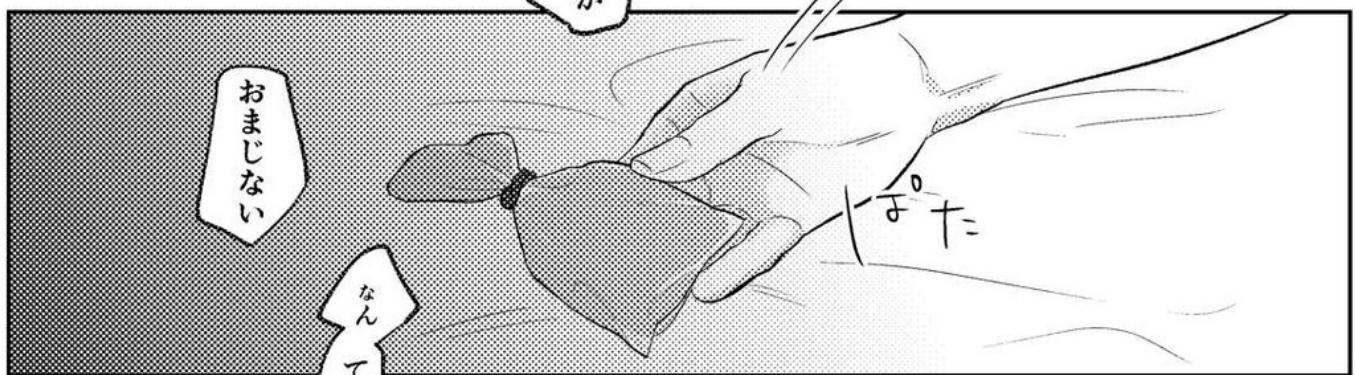
ガリ
フフ







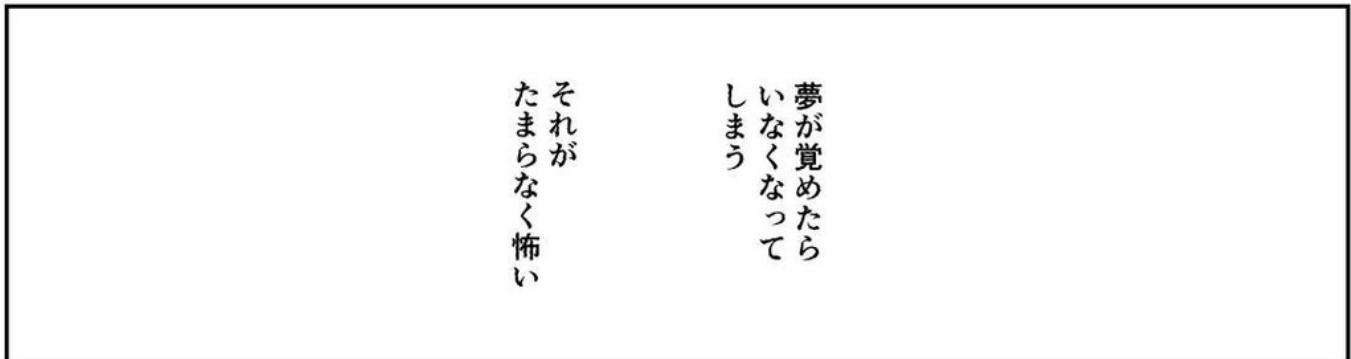




良い夢が
訪れますように」
と言ったのさ







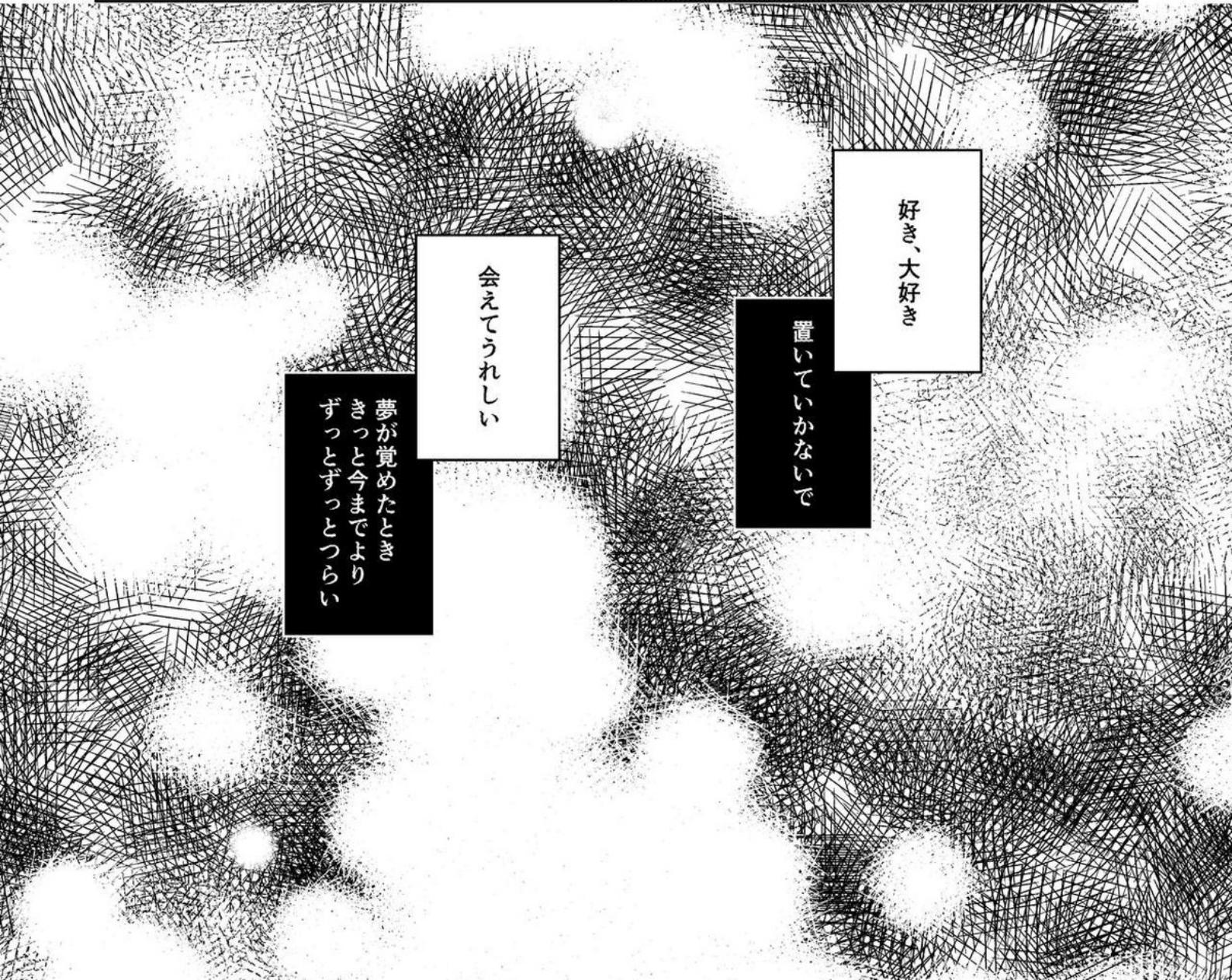


なのに
会つてしまつたら、



俺はきっと
手を伸ばさずには
いられない





もう頭の中全部
ぐちやぐちやだ

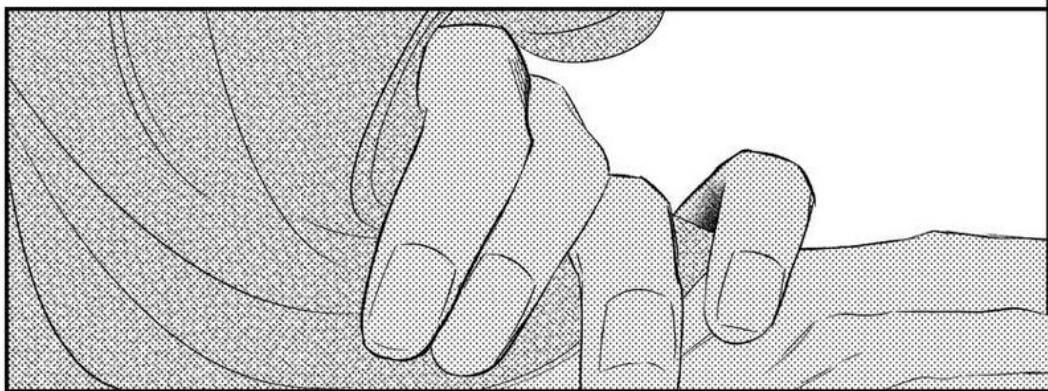
ちぐはぐで矛盾してゐる

現実では召喚しようとするくせに
夢の中では咄嗟に逃げ出した

結局のところ
あんな思いをすると
わかつていて

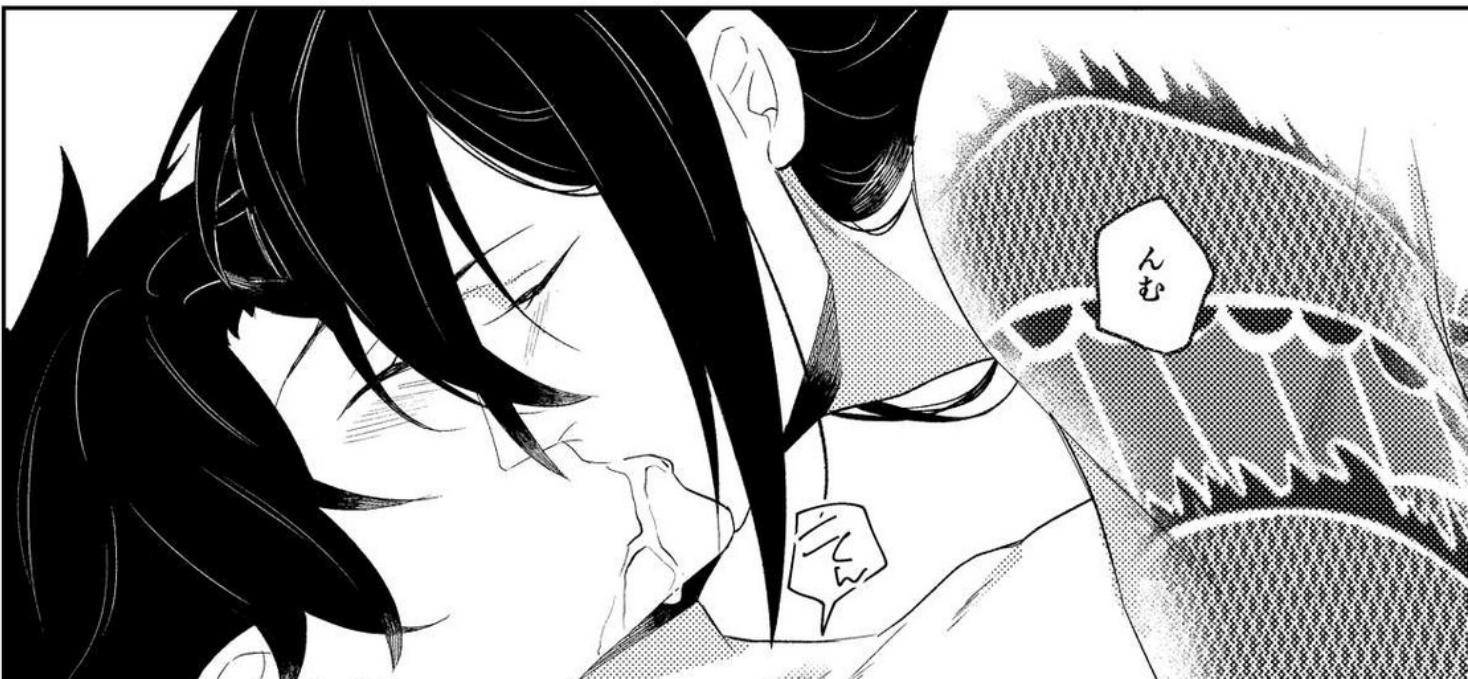
燕青ともう一度
会う勇気なんてない上に

彼を目の前にして
手を伸ばさずにいられる
賢明さも持ち合わせて
なかつたんだ



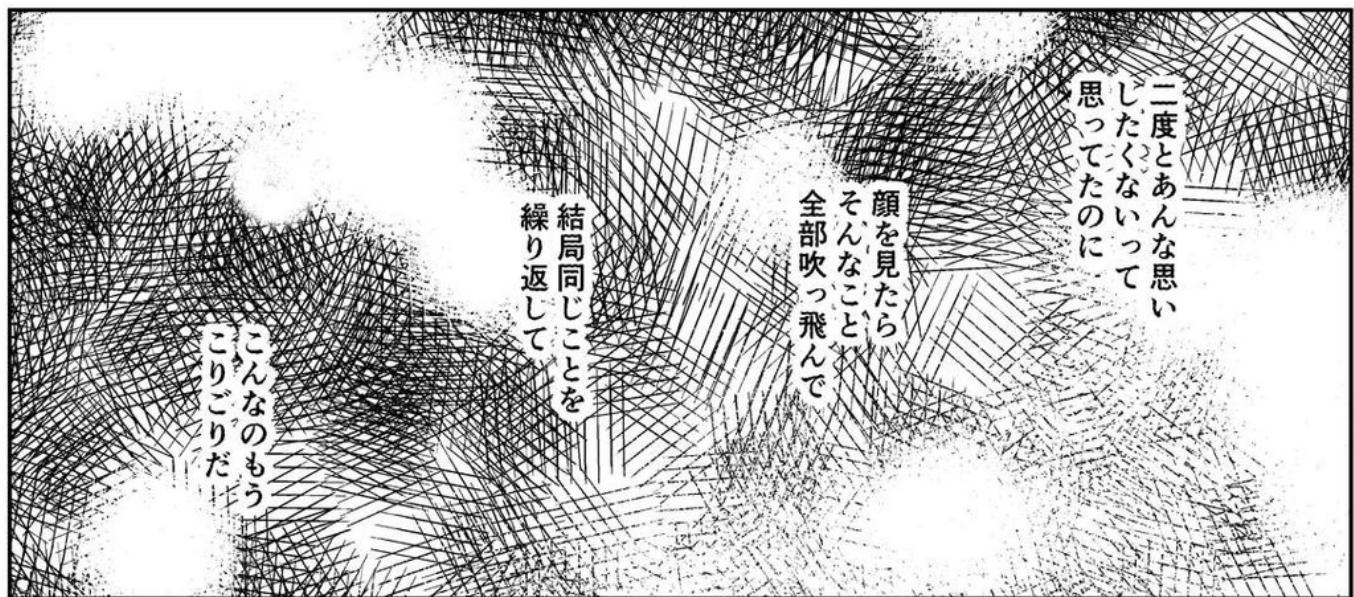
このまま夢が
覚めなければいいのに

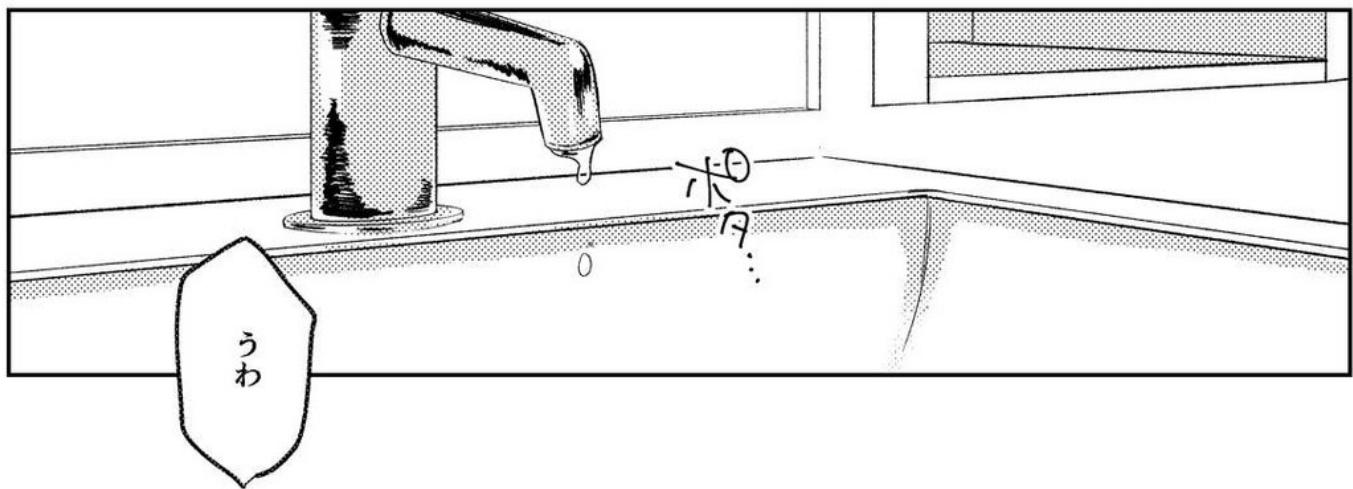










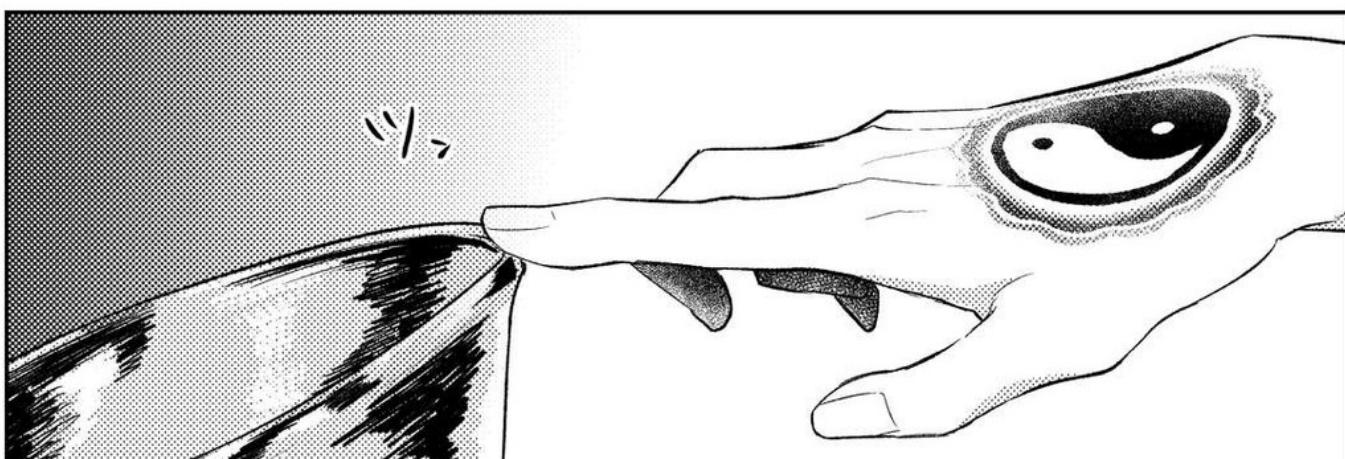






よし

切り替え切り替え





だって
ぜんぶ夢の中の
出来事だった
はずなのに



Ghost

in a dream.

2

新宿のアサシン × 藤丸立香

hologram

written by oyu





じゃああの夢は…



とは言つても
私は今の君の意識を
留めておく程度のことしかしていないし

君が毎晩見ている
夢の原因は
私じゃがない



それを
知りたいのなら

そのポケットに
入っているものを
今夜も持つて
眠るといい

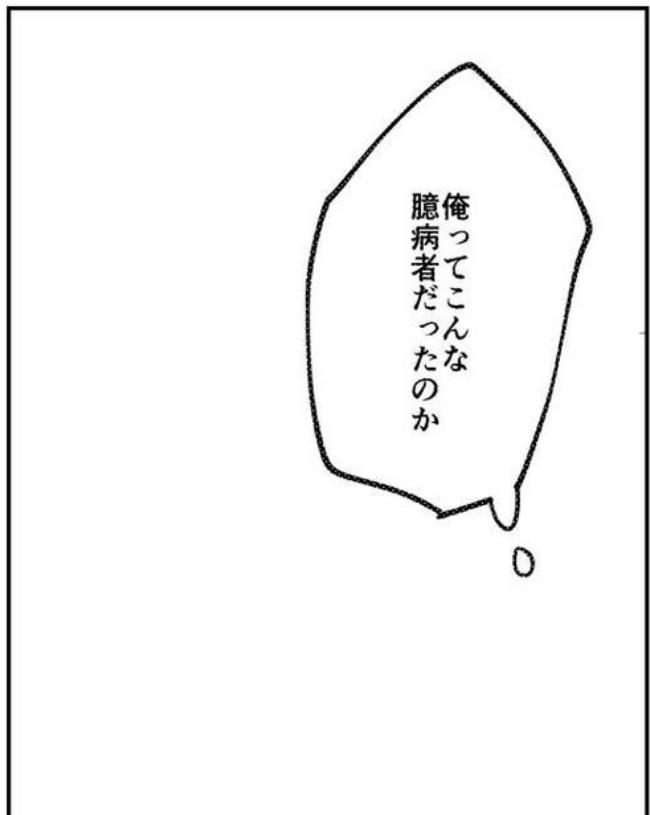


そうすれば

今夜も今の君のまま
あの夢を見る
ことができる

あとは好きなだけ
教えてもらうといい





きっと

今夜は幸せなだけの
夢なんて見れない

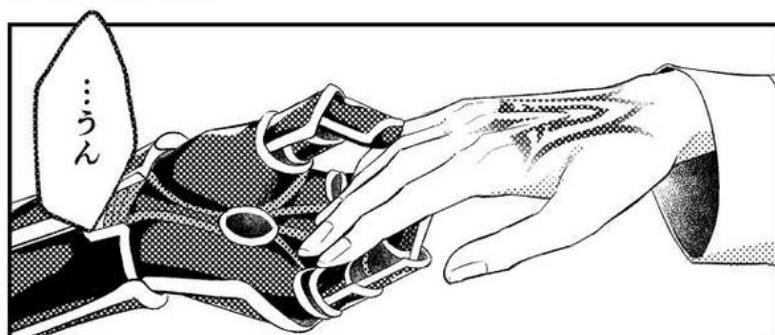


でも

なんで君が
そこにいるのか
教えてほしいんだ







それじゃあ
何から聞きたい?

ここはなんなの？

マスターの夢の中よ

もちろん
普通の夢とは
違うがね

なんせ
聖杯が絡んでる



聖杯って、

なんで…

こうなりやもう
聖杯の力に違いない

さア

俺もその場に
いたわけじや
ないからなあ

でも確かに
この世界には
あるはずのない
聖杯があつて

その上なぜか
俺がここにいる



燕青は最初から
ここがどういうものか
知ってた？

まああとは
聖杯からの知識で
外がどうなつてるかは
わかつっていたんだが：

いいや



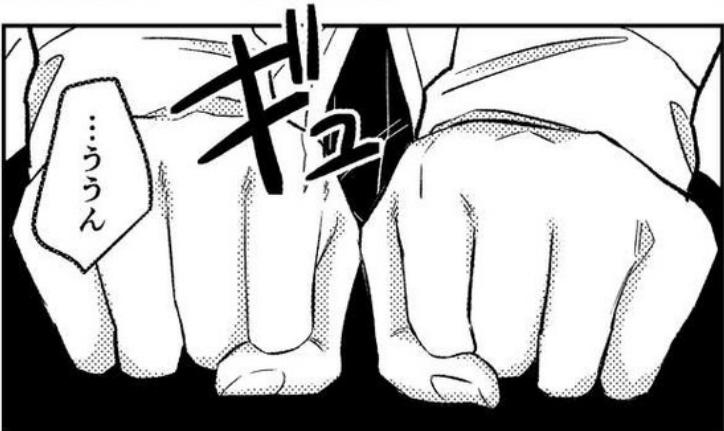
マスターには
カルデア以降の
記憶がなさそな上に

マーリンがいた？

世界が漂白
されたつてー
割にここは
そのままだし

さすが
大正解







ああ

そうなるな

俺はひどいこと
をしたのに

どうして

そんな優しい顔
をするんだ

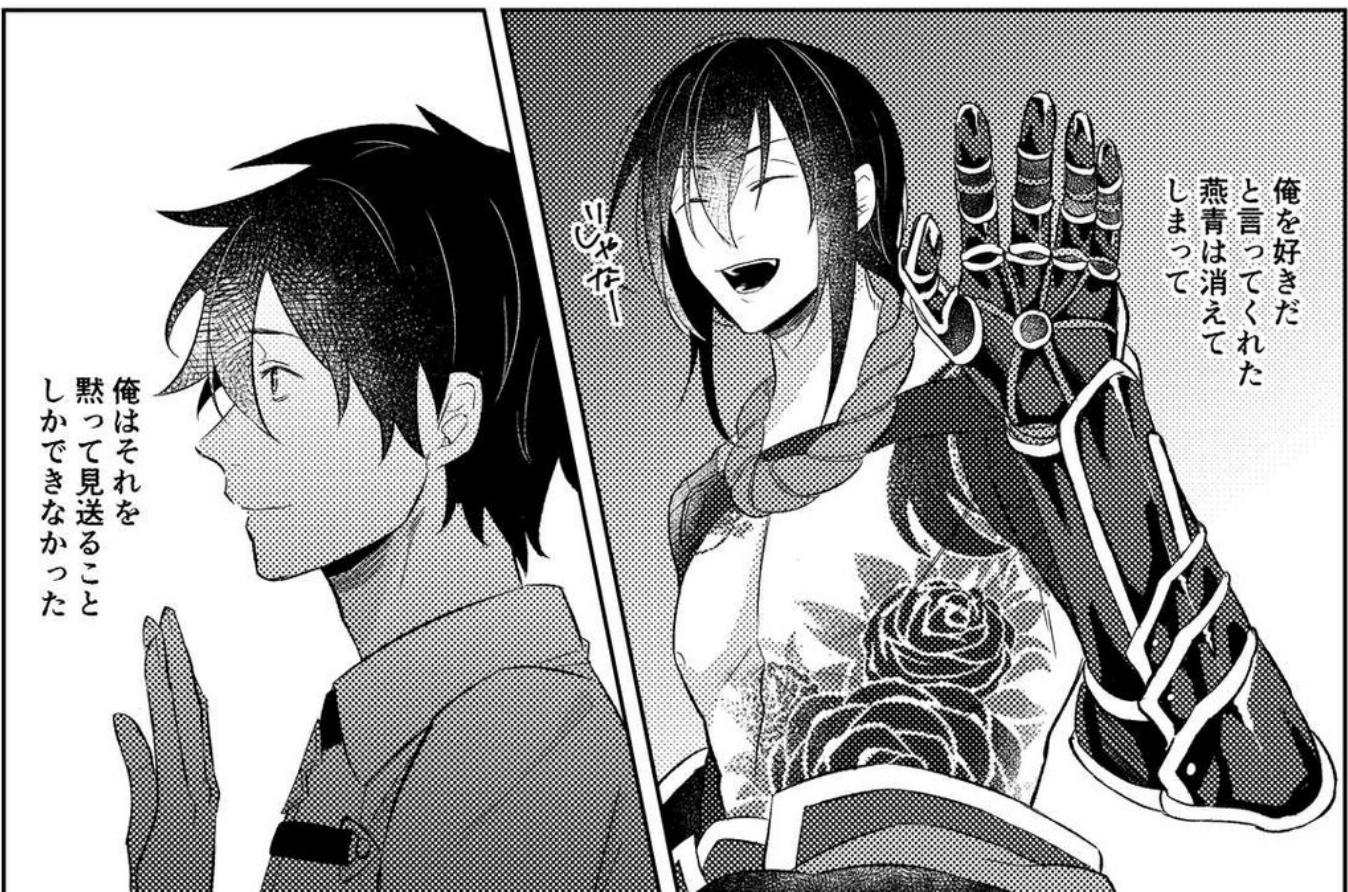
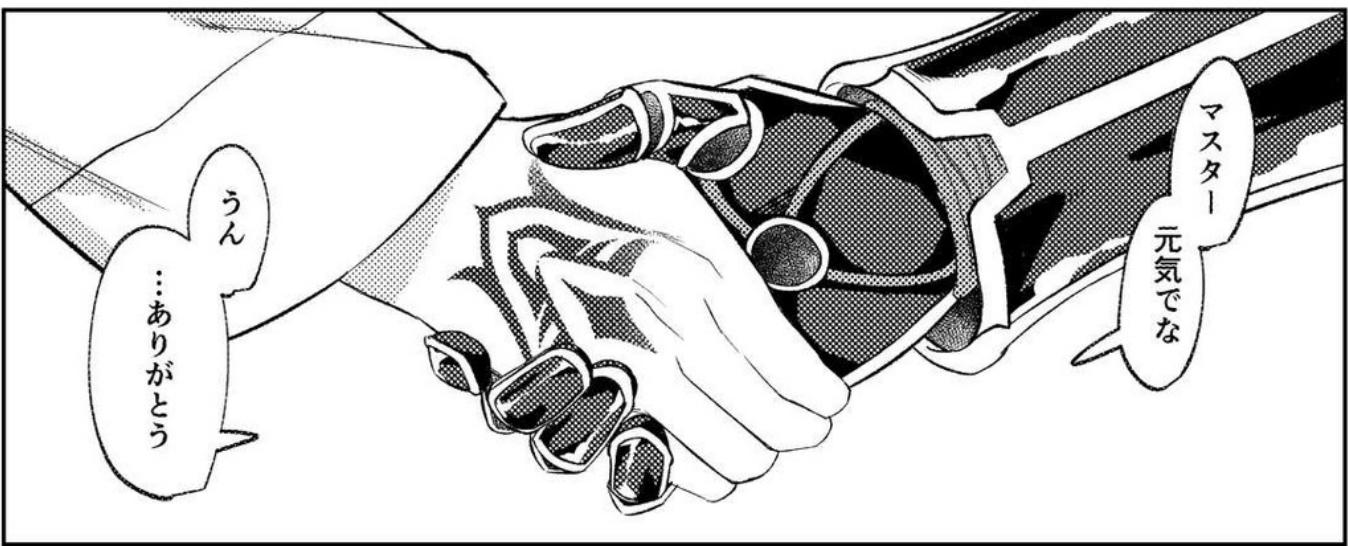
もう一度会いたいと
願っていたのは本当に

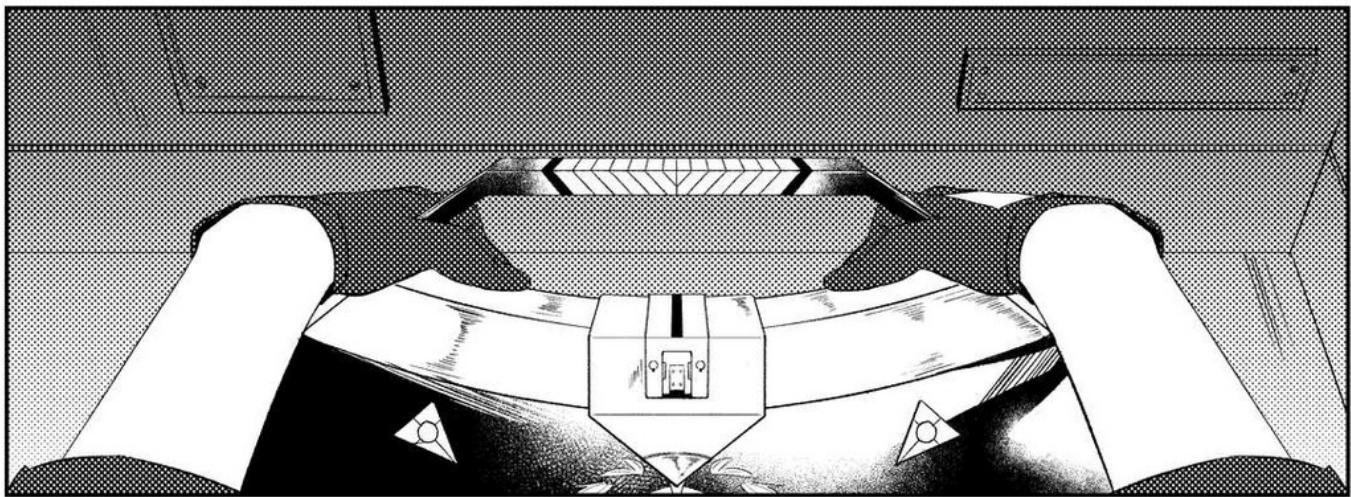
見ないふりを
していたことがある

だけど

心のどこかで
会うのが怖い
とも思つていた







はあ

燕青と再会
できたところで

この戦いが
終われば
またさよならだ



また何もできずに
置いていかれる

あんな思い
もうしたくなくて

どうしようもなく
恐ろしくて



心のどこかで
そうやつて
拒んでいた

召喚するため
に駆けずり回
ふりをして

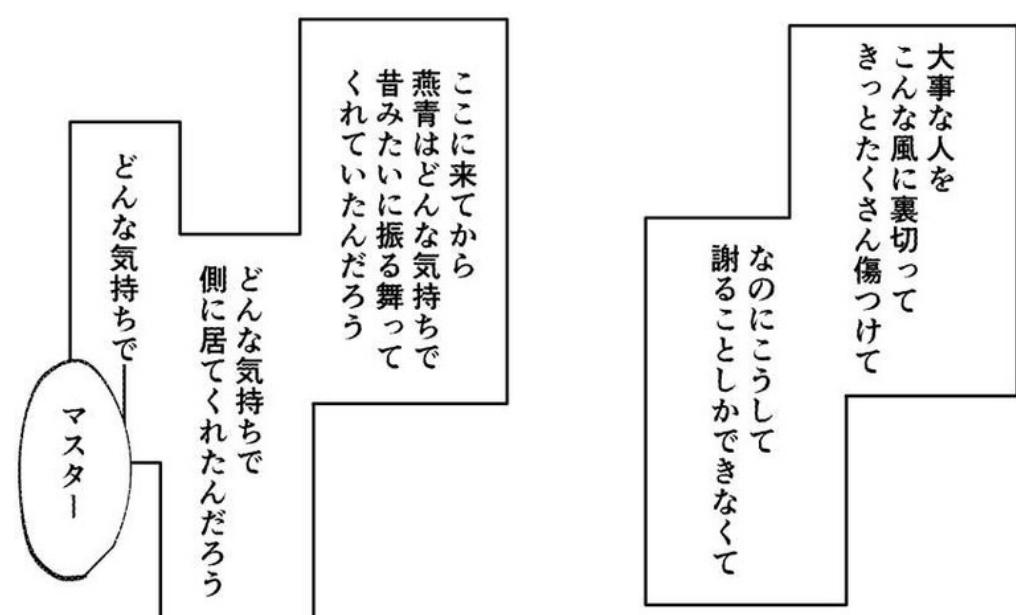
それなら
いつそ再会でき
なければいい



俺の都合で燕青に
ひどいことをした

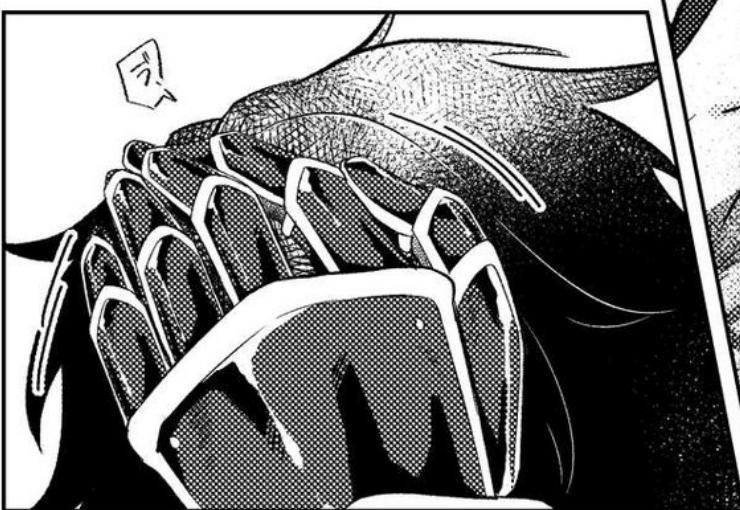
俺はとんでもなく
自分勝手で、最低で

だから…！









恋しくて
たまらなくて

だからこそ
別れが恐ろしくて

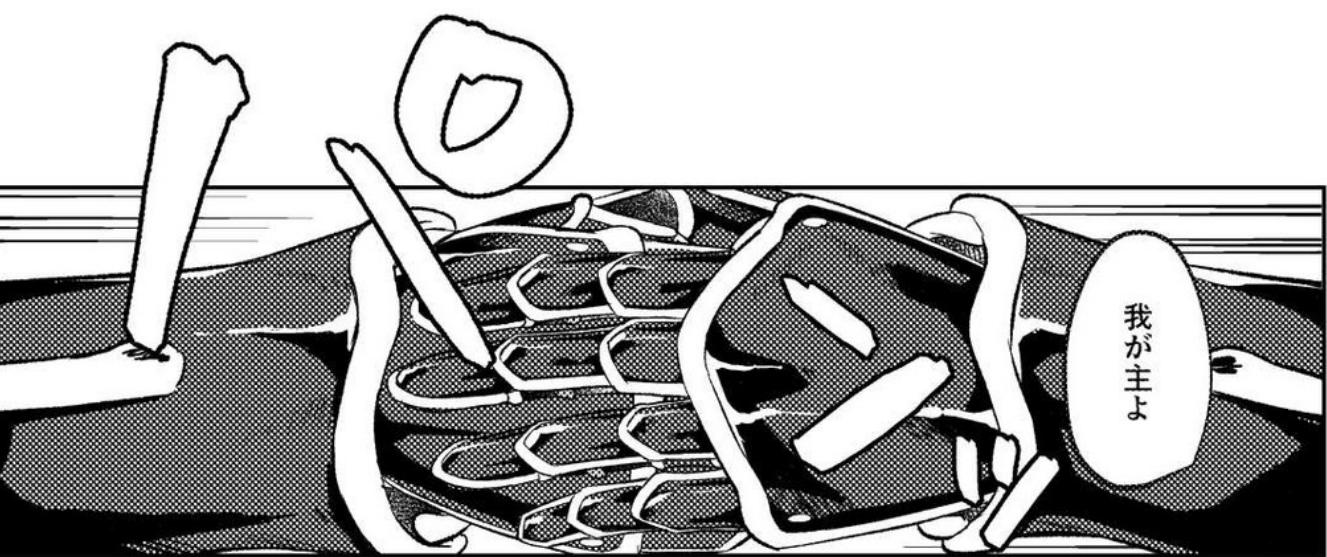
ずっと逃げて

そんな自分が
一番許せなかつた

我が主よ

今度こそ従者として

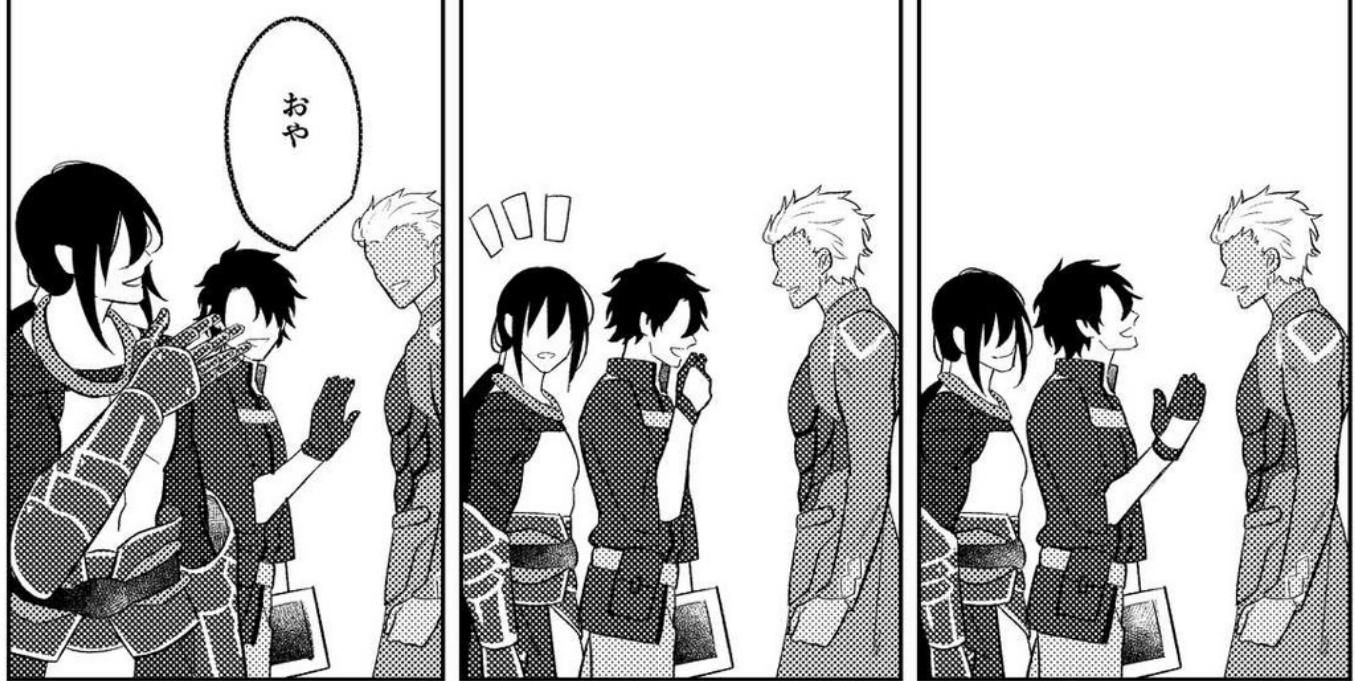
また一人の侠客として

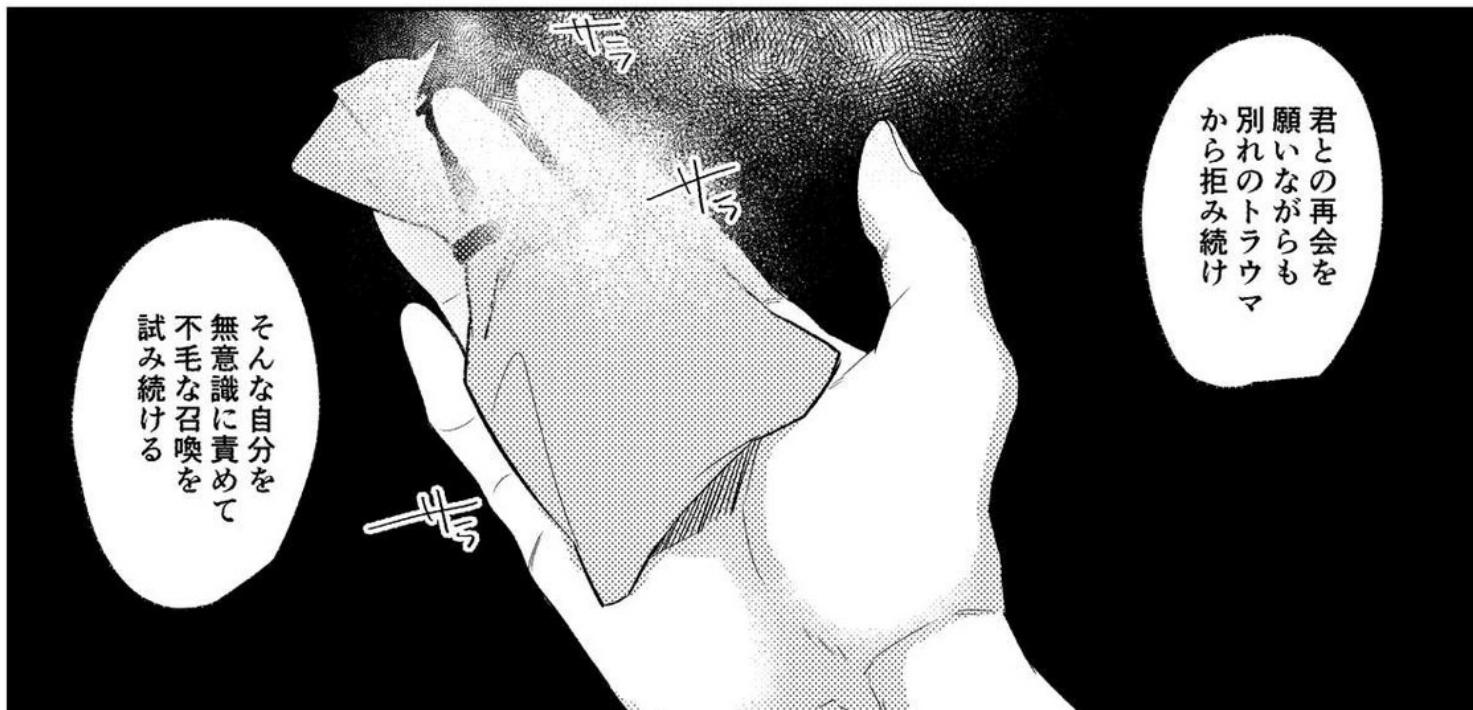




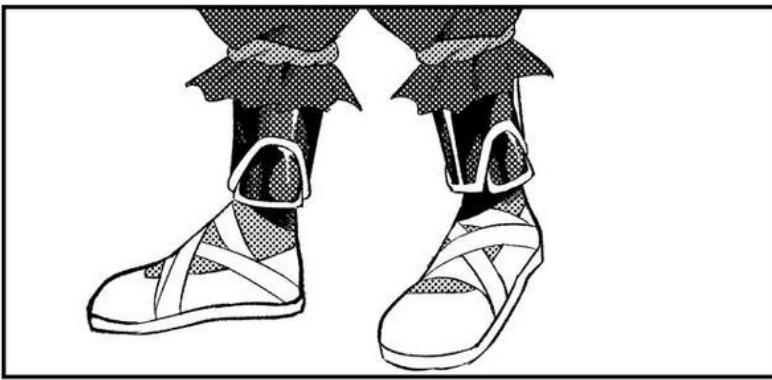
あ
あ

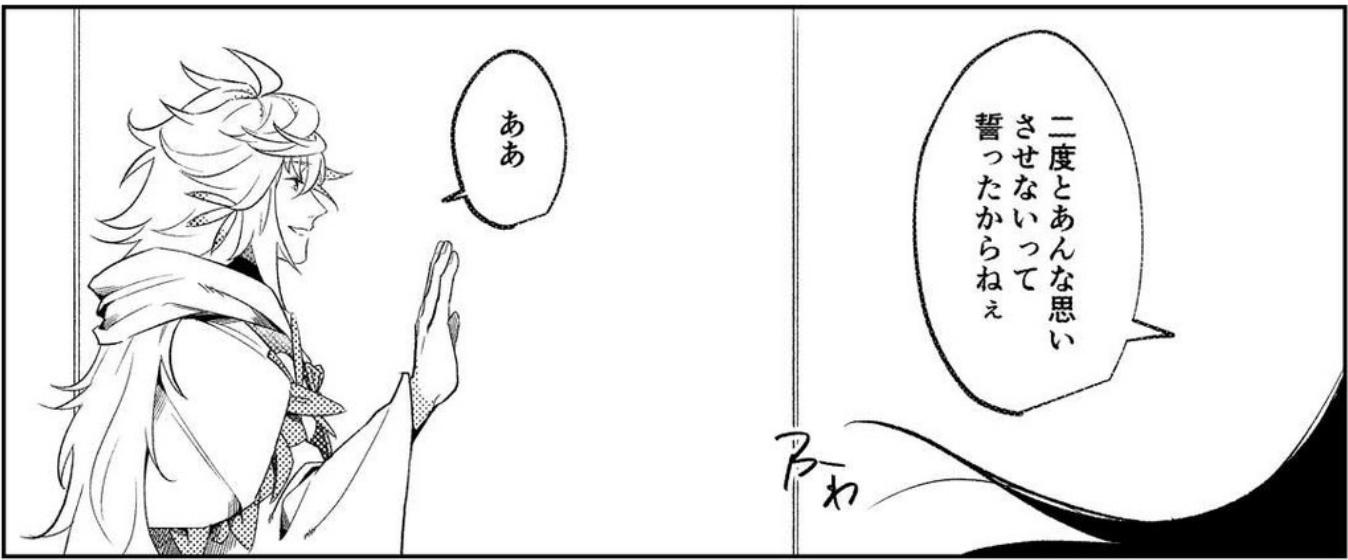
たとえ夢が覚めようとも
この身はいつまでも
我が主のお側に











そうだったね